

5 - 11 東海地方にむけるラドン観測

Radon Observation in the Tokai District

東京大学理学部

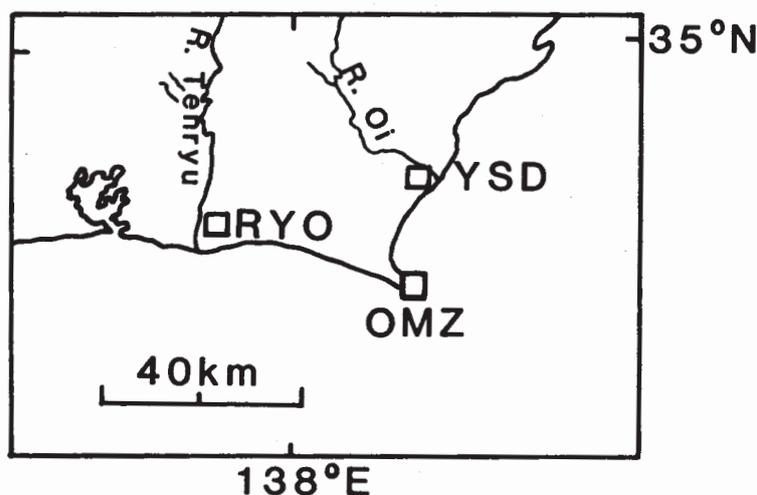
脇田宏, 中村裕二

Hiroshi Wakita, Yuji Nakamura
Faculty of Science, University of Tokyo

東海地方, 吉田 (Y S D), 竜洋 (R Y O) における地下水中のラドン濃度の長期連続観測結果 (測定開始より 1982 年 10 月まで) について報告する。第 1 図に観測地点の位置を示す。第 2 図, 第 3 図はそれぞれ, 吉田, 竜洋における 2 時間毎の読みとり値 (カウント / 分で表示) の 12 点移動平均である。季節変動の他に地域的特性を反映した変動が見られる。吉田では, 1979 年以前, 夏季に大きな変動を示していたが, 1980 年以降, この年変化のパターンは異っている。また, 竜洋では人工揚水の影影による週単位の変動が顕著である。これらの変動要因の解析については前に報告した¹⁾。

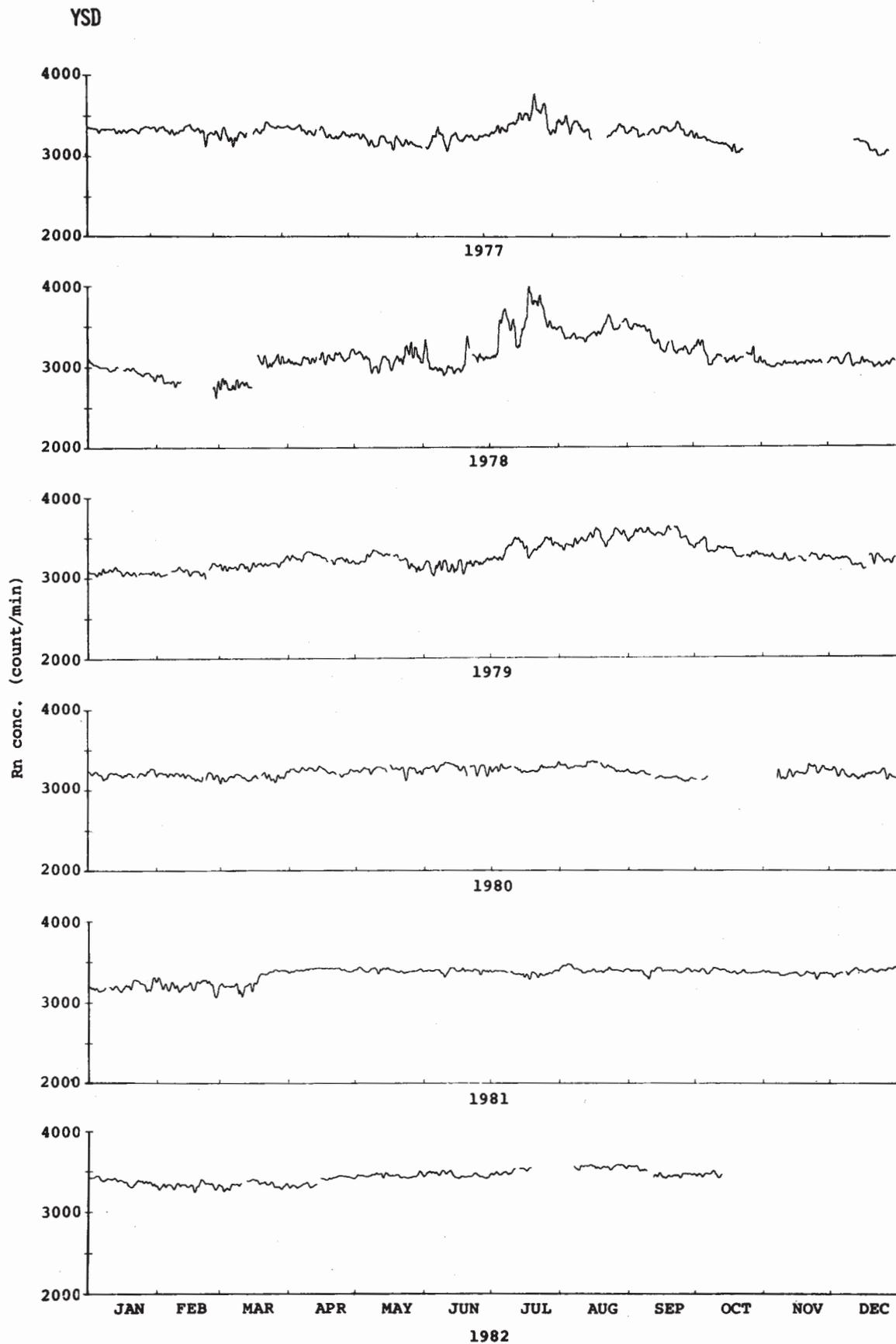
参 考 文 献

- 1) 脇田宏・中村裕二：東海地方におけるラドン観測, 連絡会報, 27 (1982), 231-237.



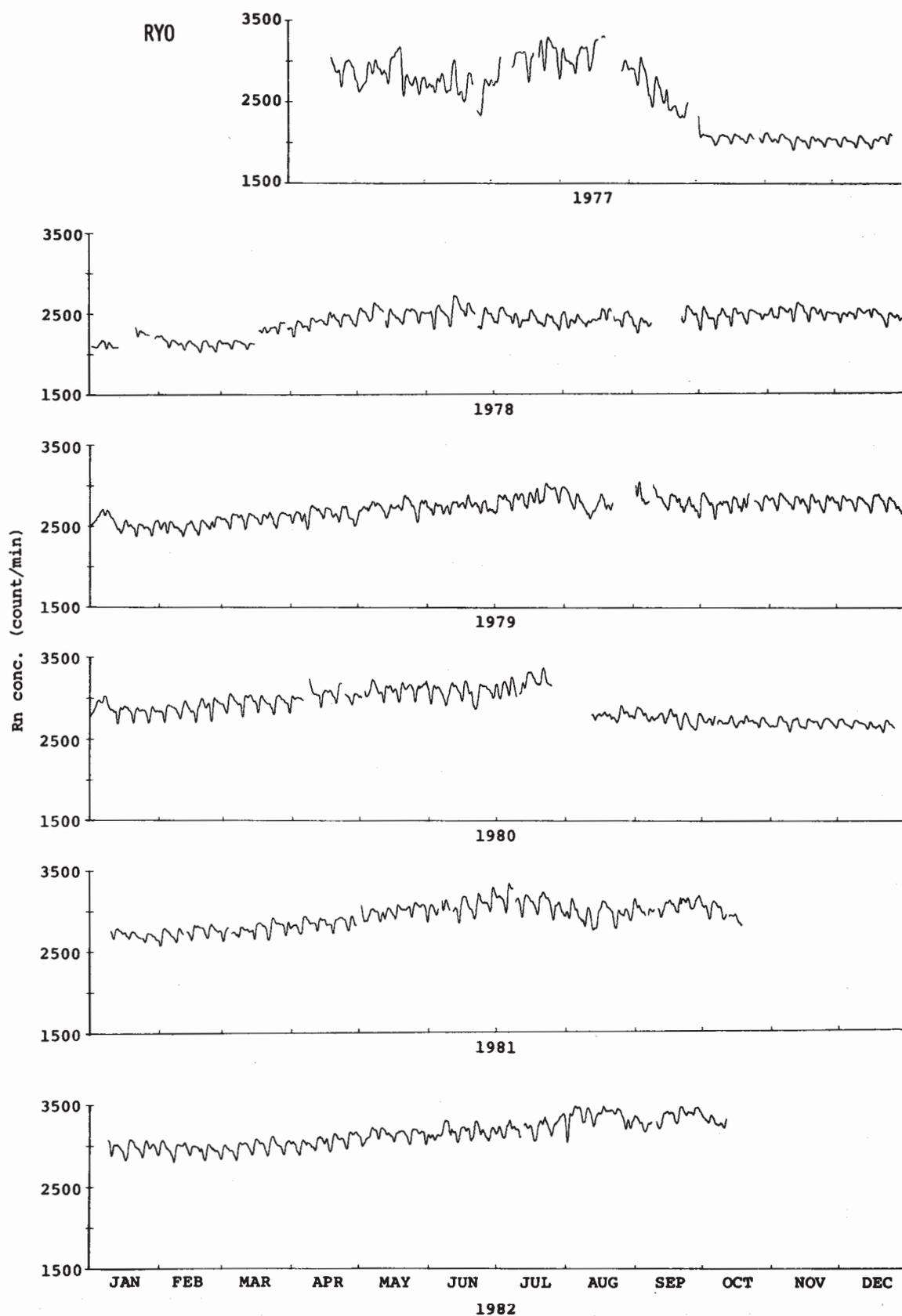
第 1 図 東海地方の地球化学観測井の位置

Fig. 1 Location of geochemical observation sites in the Tokai District. (YSD: Yoshida, RYO: Ryuyo and OMZ: Omaezaki)



第2図 吉田における地下水中のラドン濃度の変化(1977年1月~1982年10月)

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at YSD(Yoshida) (January, 1977-October, 1982)



第3図 竜洋における地下水中のラドン濃度の変化（1977年4月～1982年10月）

Fig. 3 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at RYO(Ryuyo) (April, 1977-October, 1982)